

独立行政法人海洋研究開発機構
(JAMSTEC)

東日本大震災 緊急調査報告会

緊急調査の成果と今後の展望

海洋研究開発機構による東日本大震災 緊急調査の概要

- ・ 東日本大震災緊急調査について
- ・ 東日本大震災緊急調査における機構船舶等の運用について

緊急調査内容とその結果

- ・ 緊急調査から見えてきた巨大変動とその発生メカニズム
- ・ 緊急調査から見えてきた深海底および底層水における化学・生物環境擾乱とそのインパクト
- ・ 福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋での挙動 -「みらい」物質循環研究航海でわかったこと-

結果を踏まえた今後の取り組みと社会への貢献

- ・ JAMSTEC の地震津波減災研究の取り組み -研究推進と情報発信のあり方-
- ・ 地震後の海洋生態系を覗く -漁業復興への貢献と深海生態系モニタリング-
- ・ 福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋拡散シミュレーション

日時：平成23年 **11月20日** (日)
10:30 ~ 17:30 (開場 10:00)

場所： **秋葉原コンベンションホール**
東京都千代田区外神田1-18-13
秋葉原ダイビル2F(JR 秋葉原駅 徒歩1分)
(参加費無料、参加申込み不要)



お問合せ：独立行政法人海洋研究開発機構
事業推進部推進課

TEL: 046-867-9230

E-mail: renkei@jamstec.go.jp

ホームページ： <http://www.jamstec.go.jp>



独立行政法人

海洋研究開発機構

東日本大震災 緊急調査報告会

緊急調査の成果と今後の展望

10:30
} 10:40

開催・来賓挨拶

第1部 ～ 海洋研究開発機構による東日本大震災緊急調査の概要 ～

10:40
} 11:20

東日本大震災緊急調査について

海洋研究開発機構 理事 平 朝彦

東日本大震災緊急調査における機構船舶等の運用について

海洋工学センター 運航管理部 部長 田代 省三

第2部 ～ 緊急調査内容とその結果 ～

11:20
} 14:30

緊急調査から見てきた巨大変動とその発生メカニズム

地球内部ダイナミクス領域 海洋プレート活動研究プログラム プログラムディレクター 小平 秀一

ポスターセッション・休憩 (12:10~13:10)

緊急調査から見てきた深海底および底層水における化学・生物環境擾乱とそのインパクト

海洋・極限環境生物圏領域 深海・地殻内生物圏研究プログラム プログラムディレクター 高井 研

福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋での挙動

—「みらい」物質循環研究航海でわかったこと—

地球環境変動領域 物質循環研究プログラム プログラムディレクター 才野 敏郎

ポスターセッション・休憩 (14:30~15:25)

第3部 ～ 結果を踏まえた今後の取り組みと社会への貢献 ～

15:25
} 17:25

JAMSTEC の地震津波減災研究の取り組み —研究推進と情報発信のあり方—

地震津波・防災研究プロジェクト プロジェクトリーダー 金田 義行

地震後の海洋生態系を観つづける —漁業復興への貢献と深海生態系モニタリング—

海洋・極限環境生物圏領域 海洋生物多様性研究プログラム チームリーダー 藤倉 克則

福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋拡散シミュレーション

地球環境変動領域 短期気候変動応用予測研究プログラム プログラムディレクター 升本 順夫

17:25
} 17:30

閉会挨拶

場 所：秋葉原コンベンションホール

東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

アクセス：JR 秋葉原駅 徒歩1分

お問合せ：独立行政法人海洋研究開発機構 事業推進部推進課

T E L 046-867-9230

E-mail renkei@jamstec.go.jp

ホームページ <http://www.jamstec.go.jp>



独立行政法人

海洋研究開発機構